保 護 者 様

平成22年度　ポリオ

5月と10月に実施

＊ 接種当日は「母子健康手帳」を持参しましょう。

八 王 子 市

ポ リ オ(急性灰白髄炎)予 防 接 種 の お 知 ら せ

対象年齢:生後3か月(3か月の誕生日の前日)～7歳5か月(7歳6か月の誕生日の前前日)

お子さんが生後3か月以上になりますと、ポリオ予防接種の対象になります。ポリオ予防接種はワクチンの特殊性から接種を行なう時期を決めて行います。八王子市では5月と10月の年2回個別接種協力医療機関(裏面の一覧表)で行います。このお知らせと小冊子「予防接種と子どもの健康」(母子健康手帳と同時にお渡ししています。)をお読みになり、なるべく標準年齢内で体調が良いときにポリオ予防接種を受けましょう。

「予診票」は個別接種協力医療機関に置いてあります。「母子健康手帳」を持って、個別接種協力医療機関(裏面の一覧表)で予防接種を受けましょう。

●予 防 す る 病 気 の 特 徴

ポ リ オ (急性灰白髄炎) ⇒ ポリオウィルスはヒトからヒトへ感染します。感染した人の便中に排出されたウィルスが口から入り咽頭や腸で感染増殖します。ほとんどの例はまったく無症状の不顕性感染型ですが、ウィルスが血液を介して脳・脊髄に感染し麻痺を起こすことがあります。感染した人の5から10%はかぜ様の症状・発熱に続き頭痛・嘔吐があらわれ麻痺が出現して一部の人は永久に残ります。また呼吸困難により死亡することもあります。

日本では約30年前まで流行がありましたが、予防接種の効果で現在は自然感染は報告されていません。しかしアフリカ・東南アジアの一部地域ではポリオが発生しているため、世界的にはどこでもポリオワクチンの接種を続けていく必要があります。お子さんにポリオワクチン接種を受けさせましょう。

●接 種 年 齢 と 回 数

【 ポ リ オ 】標準年齢 ⇒ 生後3か月～ 1歳5か月 / 接種回数 ⇒ 2回

☆1回目と2回目の間隔は最低41日以上あけることになっていますので、八王子市の場合には、たとえば1回目を5月に接種した子の2回目の接種は10月になります。また、10月に受けられなかった場合は5月に受けてください。ポリオは間隔があいてしまっても構いませんので必ず2回接種を受けるようにしましょう。

☆対象年齢内の生後3か月(3か月の誕生日の前日)～7歳5か月(7歳6か月の誕生日の前前日)まで接種費用は無料です。八王子市に住民登録(外国人登録)があり、対象年齢内のお子さんは無料で接種できます。

ポリオ予防接種は合計2回ですが、2回目のお知らせはないため、受け忘れのないようにしましょう。

7歳6か月を過ぎると任意接種となり、八王子市内の個別接種協力医療機関では受けられません。

●注　　意

ポリオワクチンはスポイトで飲む生ワクチンで、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ型の3つのタイプのウィルスが混ざっています。しかし1回飲んだだけでは3つのうち1つか2つの型だけの免疫しかつかないことがありますので、2回目を飲むことによって1回目のときにつかなかった型に対して免疫ができて予防体制ができ上がります。またスポイトで飲むワクチンなので、飲んだ後に吐くこともあります。飲んですぐに吐いた場合にはもう一度飲ませますが、飲んでから30分以上たっていれば免疫効果はあります。また、ひどい下痢をしていると免疫がつきにくいので、下痢が治って普段どおりの状態になってから受けましょう。

●予 防 接 種 の 受 け 方　＊予防接種はお子さんの体調のよい時に受けるのが原則です。

【接 種 前】

①ポリオ予防接種の必要性を理解し、接種を希望することが大切です。お知らせ、小冊子をよくお読みください。

②接種を受けようとする個別接種協力医療機関(裏面の一覧表)に予約をしてください。

③接種の当日は健康状態を確認して、医師の質問に十分答えられる方が、予約した個別接種協力医療機関にお子さんを連れて行ってください。

＊「母子健康手帳」を持参しこれまでの予防接種記録を医師に提示できるようにしてください。

④「予診票」は個別接種協力医療機関で受け取り、保護者が責任を持って記入してください。

【接 種 後】

①飲んだ後吐かないように、30分間は飲食物を与えないでください。

②「母子健康手帳」の「予防接種の記録」欄へ、接種医師に記入してもらってください。

＊予防接種の記録は大切に保管しましょう。

③接種当日は激しい運動を控えてください。また入浴は接種当日からできます。

*ポリオワクチン接種後、他のワクチンを接種するまでは27日以上空ける必要があります。BCGなど接種期間の短い予防接種が受けられなくなることのないように受ける順番に注意してください。

接種を受けた子の便中には1ヶ月間程度ワクチンウイルスが排出されますので、オムツのとりかえ、便を処理後の手洗いは石鹸でしっかり行ないましょう。

●接 種 が 受 け ら れ な い お 子 さ ん

①明らかに発熱している子(37.5℃以上)

②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな子

③今までに免疫不全の診断がなされているまたはその疑いのある子

④接種する接種液の成分により、アナフィラキシーを起こしたことが明らかな子

⑤接種当日に下痢をしている子 ⇒下痢が治ってから受けましょう

⑥麻しん(はしか)・風しん・水ぼうそう・おたふくかぜにかかり、治ってから4週間を経過していない子、またはこれらの病気に感染している確率の高い子

⑦麻しん(はしか)風しん混合・麻しん単独・風しん単独・BCG・水ぼうそう・おたふくかぜなどの予防接種を受けてから27日以上、または三種混合・二種混合・日本脳炎・インフルエンザ・B型肝炎などの予防接種を受けてから6日以上を経過していない子

⑧その他医師が不適当と認める子

●医 師 と 相 談 が 必 要 な お 子 さ ん

①心臓血管系・腎臓・肝臓・血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有することが明らかな子

②前回の予防接種で2日以内に発熱・全身性発疹等のアレルギーを疑う症状があった子

③接種する接種液の成分に対して、アレルギーを起こすおそれのある子

④今までにけいれんの症状を起こしたことがある子(主治医の判断が必要な場合もあります。)

●副　反　応

ワクチンに使用されているウィルスは弱毒化されており安全ですが、服用後体内で増えるため、約450万人の経口接種に1人程度の極めてまれな頻度で、ウィルスが脳脊髄に達して麻痺を生ずることがあります。

重症副反応ではありませんが、ワクチン接種後2～3日後までに下痢や嘔吐、発熱がみられることがあります。

またワクチンを飲んだ人からは15～37日間(平均26日間)にわたりウィルスが便中に排泄されます。このウィルスがワクチンを受けていない人などに感染して麻痺を起こすことがあります。その頻度は一定していませんが550万人に1人程度でまれなものです。このため、ワクチン接種後の子のオムツの取り扱いには、注意をしてください。

☆万一、予防接種法に基く定期の予防接種を受けて重篤な健康被害が発生した時には、予防接種法の規定により健康被害に対する給付が行なわれます。ワクチン接種者からの2次感染についても健康被害救済制度があります。

＊昭和50～52年生まれの方は、ポリオワクチンを接種していても、他の年齢層に比べてポリオの免疫を保有している方の割合が低いので、ポリオウィルス常在国に渡航するときは、ワクチン接種が必要です。

また、お子さんがポリオの予防接種を受けるときは、15～37日間(平均26日間)便中にウィルスが排泄されますので、オムツ替えの際は、必ず十分な手洗いを行うなどの感染予防することが必要です。接種機会があれば未接種の親は、子どもが接種を受ける時に、なるべく同時期に接種を受けるようお勧めします。ただし、この場合は任意接種となり自費となります。成人の方がポリオ予防接種を受ける場合は、接種を実施する医療機関について保健センターへお問合せください。

八 王 子 市 保 健 セ ン タ ー　〒192－0061 八王子市平岡町18－3　℡(625)9128

保 護 者 様　　平成22年度 MR第1期用

「予診票」は個別接種協力医療機関に置いてあります。
＊接種当日は「母子健康手帳」を持参しましょう。　　八 王 子 市

MR第1期　麻しん風しん混合予防接種のお知らせ（第１期）

満1歳になったら、麻しん風しん混合ワクチンの予防接種を受けましょう。
麻しん（はしか）、風しんは予防接種で防ぐことができます。
このお知らせをよく読んで、お子さんの体調のよい時に、早めに接種を受けるようにしましょう。

●予 防 す る 病 気 の 特 徴

麻 し ん⇒（はしか）　麻疹ウィルスの空気感染・飛沫感染などによっておこり、伝染力が強く、かかると重症化します。主な症状は発熱・せき・鼻汁・めやに・発しんで、3～4日間は38℃位の熱で一時おさまりかけたあと、39℃～40℃の高熱と発しんが出てきます。高熱は3～4日で解熱し、次第に発しんも消失します。しばらく色素沈着が残ります。主な合併症は気管支炎・肺炎・中耳炎・脳炎です。日本では現在でも、わずかですが死亡するお子さんがいます。

風 し ん⇒（三日ばしか）　風疹ウィルスの飛沫感染によっておこり、軽いカゼ症状で始まります。主な症状は発しん・発熱・後頸部リンパ節腫脹です。発しんも熱も約3日間で治りますので「三日ばしか」ともよばれていますが、大人になってからかかると一般に重症になりやすく、3日で治らないことが多いものです。また妊婦が妊娠早期にかかると先天性風しん症候群と呼ばれる児（心奇形・白内障・聴力障害など）が生まれる可能性が高くなります。

●接 種 年 齢 と 回 数　☆平成18年4月から2回接種（第1期・第2期）にかわりました。

麻しん風しん混合（第1期）　満1歳～1歳11か月 / 接種回数 ⇒ 1回
☆ 対象年齢の満1歳（1歳の誕生日の前日）～1歳11か月（2歳の誕生日の前前日）
八王子市に住民登録（外国人登録）があり、対象年齢内のお子さんは無料で接種できます。
※万一、やむをえない事情で対象年齢内に接種できなかった場合は保健センターへお問合せください。

【麻しん風しん混合（第2期）】　小学校入学前の1年間が対象期間です。 / 接種回数⇒1回
＊ 第2期の対象になりましたら、個別に通知をします。

●注　　意

麻しん（はしか）は1～2歳、風しんは2～3歳になるとかかる子が増えます。保育園などの集団生活に入る前に接種することが大切です。1歳になったらできるだけ早く接種を受けましょう。
麻しん（はしか）、風しんのどちらか一方に罹患した子も麻しん風しん混合ワクチンが接種できます。
ただし、麻しん（はしか）と風しんの両方に罹患した子は接種は不要です。

●予 防 接 種 の 受 け 方　＊予防接種はお子さんの体調のよい時に受けるのが原則です。

【接 種 前】
①麻しん風しん混合予防接種の必要性を理解し、接種を希望することが大切です。このお知らせや、小冊子「予防接種と子どもの健康」（「母子健康手帳」と同時にお渡ししました。）をよくお読みください。
②接種を受けようとする個別接種協力医療機関（裏面の一覧表）に予約をしてください。
③接種の前日は入浴し、当日は保護者が健康状態を確認して清潔な衣服を着せてください。
④医師の質問に十分答えられる方が、予約した個別接種協力医療機関にお子さんを連れて行ってください。
予診票には平熱を記入する欄があります。日頃のお子さんの体温を知っておくようにしましょう。
＊「母子健康手帳」を持参し、これまでの予防接種記録を医師に提示できるようにしましょう。
⑤「予診票」は個別接種協力医療機関で受け取り、保護者が責任を持って記入してください。

【接 種 後】
①注射した部分は、軽く押さえる程度にして、もむ必要はありません。
②「母子健康手帳」の「予防接種の記録」欄へ、接種医師に記入してもらってください。
＊ 予防接種の記録は大切に保管しましょう。
③接種当日は激しい運動を控え、注射した部分を強くこすらなければ入浴は差し支えありません。

●接 種 が 受 け ら れ な い お 子 さ ん

①明らかに発熱している子（37．5℃以上）
②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな子
③接種する接種液の成分により、アナフィラキシーを起こしたことが明らかな子
④免疫機能に異常のある疾患を有することが明らかな子
⑤輸血やガンマグロブリンの注射を受けてから3か月を経過していない子（大量の注射を受けた場合は6ヶ月）
⑥卵や抗生物質でアナフィラキシーを起こしたことが明らかな子
⑦水ぼうそう・おたふくかぜにかかり、治ってから4週間を経過していない子、またはこれらの病気に感染している確率の高い子
⑧ポリオ・BCG・水ぼうそう・おたふくかぜなどの予防接種を受けてから27日以上、または三種混合・日本脳炎・インフルエンザ・B型肝炎などの予防接種を受けてから6日以上を経過していない子
⑨その他医師が不適当と認める子

●医 師 と 相 談 が 必 要 な お 子 さ ん

①先天性異常、心臓・腎臓・肝臓・血液、脳神経、発育発達の病気、悪性腫瘍など何らかの病気がある子
②これまでの予防接種で2日以内に発熱・全身性発疹等のアレルギーを疑う症状があった子
③接種する接種液の成分に対して、アレルギーを起こすおそれのある子
④卵や抗生物質でアレルギーを起こすおそれのある子
⑤今までにけいれんの症状を起こしたことがある子（主治医の判断が必要な場合もあります。）

●副　反　応

主な副反応は、発熱（接種した者のうち20％程度）や、発しん（接種した者のうち10％程度）です。これらの症状は、接種後5～14日の間に多くみられます。接種直後から翌日に過敏症状と考えられる発熱、発疹、かゆみなどがみられることがありますが、通常1～3日でおさまります。ときに接種部位の発赤、腫れ、硬結（しこり）、リンパ節の腫れ等がみられることがありますが、いずれも一過性で通常数日中に消失します。稀に生じる重い副反応としては、アナフィラキシー様症状（ショック症状、じんましん、呼吸困難等、急性血小板減少性紫斑病（紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出血等）、脳炎及びけいれん等が報告されています。
☆ 通常の反応のほかに万一何らかの異常（けいれん・高熱など）が強く出た場合には、医師の診察を受け保健センターまでご連絡ください。
万一、予防接種法に基く定期の予防接種を受けて重篤な健康被害が発生した時には、予防接種法の規定により健康被害に対する給付が行なわれます。

お母さんが妊娠中であっても、お子さんの接種は受けられます。（妊娠中のお母さんは接種できません。）

八 王 子 市 保 健 セ ン タ ー　〒192－0061 八王子市平岡町18－3 ☎(625)9128

保護者様　　＊接種当日は「母子健康手帳」を持参しましょう。　　平成22年度
日本脳炎個別接種通知 3歳児用

予診票は同封していません。接種を受ける医療機関で接種当日お渡しします。　　八王子市

日本脳炎予防接種（第1期）のお知らせ

対象年齢：生後6か月（6か月の誕生日の前日）～7歳5か月（7歳6か月の誕生日の前前日）
3歳に達した時からが標準的な接種年齢です。

日本脳炎の定期接種については、平成17年6月より積極的勧奨を差し控えておりましたが、平成22年4月1日に厚生労働省より3歳のお子さんに対する第1期初回の積極的な勧奨を行うこととの方針が示されたので平成19年6月2日～平成19年7月1日生まれの方（平成22年4月1日以降の3歳児）に、このお知らせを送付しています。
すでに接種をした方にも送付されますのでご了承ください。
今年度は、ワクチンの供給量が限られることから、3歳児のみ対象にお知らせを送付します。

積極的勧奨が差し控えられた理由はマウス脳による製法の日本脳炎ワクチン（現在は製造中止）と重症の急性散在性脳脊髄炎（ADEM）との因果関係の認定がされたためです。
現在使われているワクチンは平成21年6月に発売された乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンです。主な副反応については販売開始日から6か月間にわたり実施された市販直後調査結果のまとめを下記の副反応欄に記載しているのでお読みください。

● 予防する病気の特徴

日本脳炎ウイルスの感染によっておこる中枢神経（脳や脊髄など）の疾患です。ヒトからヒトへの感染はなく、ブタなどの動物の体内でウイルスが増殖した後、そのブタを刺したコガタアカイエカ（水田等に発生する蚊の一種）などがヒトを刺すことによって感染します。東アジア・南アジアにかけて広く分布する病気です。
ウイルスを持つ蚊がヒトを刺すことによって感染します。症状が現れずに経過する（不顕性感染）場合がほとんど（過去には、100人から1000人の感染者の中で1人が発病すると報告されています）ですが、症状が出る場合には、6～16日間の潜伏期間の後に、数日間の高熱、頭痛、嘔吐などで発病し、引き続き急激に、光への過敏症、意識障害（意識がなくなること）、けいれん等の中枢神経系障害（脳の障害）を生じます。
大多数の方は、無症状に終わりますが、脳炎を発症した場合20～40％が死亡に至る病気といわれています。

● 接種年齢と間隔・回数

【第1期】　6か月～7歳5か月　　3歳に達した時からが標準的な接種年齢です。
初回（2回）　　6日から28日までの間隔で2回接種
追加（1回）　　初回完了後（第1期初回2回目を接種後）おおむね1年後に1回接種

● 接種間隔を過ぎてしまった場合などについて

第1期初回では2回接種しますが、2回目が1回目の接種後6日から28日までの間隔で接種できなかった場合は早めに医療機関で接種してください。

● 予防接種の受け方　＊予防接種はお子さんの体調のよい時に受けるのが原則です。

【接種前】
① 日本脳炎予防接種の必要性を理解し、接種を希望することが大切です。
② 接種を受けようとする個別接種協力医療機関（裏面の一覧表）に予約をしてください。
③ 接種の前日は入浴し、当日は保護者が健康状態を確認して清潔な衣服を着せてください。
④ 医師の質問に十分答えられる方が、予約した個別接種協力医療機関にお子さんを連れて行ってください。
予診票には、平熱を記入する欄があります。日頃のお子さんの体温を知っておくようにしましょう。
＊「母子健康手帳」を持参し、これまでの予防接種記録を医師に提示できるようにしてください。
⑤「予診票」は個別接種協力医療機関で受け取り、保護者が責任を持って記入してください。
【接種後】
① 注射した部分は、軽く押さえる程度にして、もむ必要はありません。
②「母子健康手帳」の「予防接種の記録」欄へ、接種医師に記入してもらってください。
＊ 予防接種の記録は大切に保管しましょう。
③ 接種当日は激しい運動を控え、注射した部分を強くこすらなければ入浴は差し支えありません。

● 接種が受けられないお子さん

① 明らかに発熱している子（37．5℃以上）
② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな子
③ 接種する接種液の成分により、アナフィラキシーを起こしたことが明らかな子
④ 麻しん（はしか）・風しん・水ぼうそう・おたふくかぜにかかり、治ってから4週間を経過していない子、またはこれらの病気に感染している確率の高い子
⑤ 麻しん（はしか）風しん混合・麻しん単独・風しん単独・ポリオ・BCG・水ぼうそう・おたふくかぜなどの予防接種を受けてから27日以上、または三種混合・インフルエンザ・B型肝炎・Hib・肺炎球菌などの予防接種を受けてから6日以上を経過していない子
⑥ その他医師が不適当と認める子

● 医師と相談が必要なお子さん

① 心臓血管系・腎臓・肝臓・血液疾患や発育障害等の基礎疾患を有することが明らかな子
② 前回の予防接種で2日以内に発熱・全身性発疹等のアレルギーを疑う症状があった子
③ 接種する接種液の成分に対して、アレルギーを起こすおそれのある子
④ 今までにけいれんの症状を起こしたことがある子（主治医の判断が必要な場合もあります。）
⑤ 今までに免疫不全の診断がなされている子及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる子

● 副反応

乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの市販直後集計結果によると
・調査期間（2009年6月2日（販売開始）～2009年12月1日）において収集した副反応は238例（345件）でした。
・最も多い副反応は、発熱でした。
・重篤な副反応として、発熱3件、アナフィラキシーショック1件、アナフィラキシー反応1件、無菌性髄膜炎1件、白血球数減少1件、関節痛1件、熱性痙攣2件、痙攣2件、顔面神経麻痺1件、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）1件、小脳性運動失調1件、喘息1件の計16件（12症例）を収集しました。転帰はいずれも回復または軽快しています。

☆なお万一このほかに、何らかの異常（けいれん・高熱など）が強く出た場合には、医師の診察を受け保健センターまでご連絡ください。万一、予防接種法に基く定期の予防接種を受けて重篤な健康被害が発生した時には、予防接種法の規定により健康被害に対する給付が行なわれます。

八王子市保健センター　　〒192－0061八王子市平岡町18－3　℡(625)9128